

学校支援地域本部事業事業実践現場訪問 【大河原町学校支援地域本部】

農家に真夏の弟子入り体験 大河原町立金ヶ瀬中学校

1 実施日 平成22年8月17日(火)から19日(木) [19日(木)訪問]

2 場 所 大河原町立金ヶ瀬中学校

3 金ヶ瀬中学校を訪問して

今回訪問した金ヶ瀬中学校では、生徒が学区内の農家（学校支援ボランティア）で農作業を行いました。夏休み中、総合的な学習の時間の授業として位置付け取り組んだ実践活動です。103名の生徒が、3日ある実施日の中の1日を活動日とし、農家ボランティアのもとで体験活動を行いました。農家ボランティアの方からアドバイスをいただきながらイモ掘り、土づくり、苗植え等の作業を行い、農家の仕事について学んでいました。高橋校長から、「体験活動を通して思いやりや協力することの大切さを学ばせたい。そして、その体験活動が充実すると学力向上に結び付くはずである。」と話がありました。

大河原町では、町内の3つの小学校と2つの中学校で学校支援地域本部事業の取組を行っています。

【取組の様子】



ジャガイモ掘り：ジャガイモの取り残しがないよう、土の中をよく探っていました。



草取り：ボランティア3名と一緒に草取りを行いました。「よく働くね」と励まされていました。



白菜の苗植え：畑に畝をつくり、マルチシートをかけて穴をあけて苗を植えました。



キャベツの苗植え：ポットに土と肥料を入れて大きくなったキャベツの苗をポットに移し替えました。